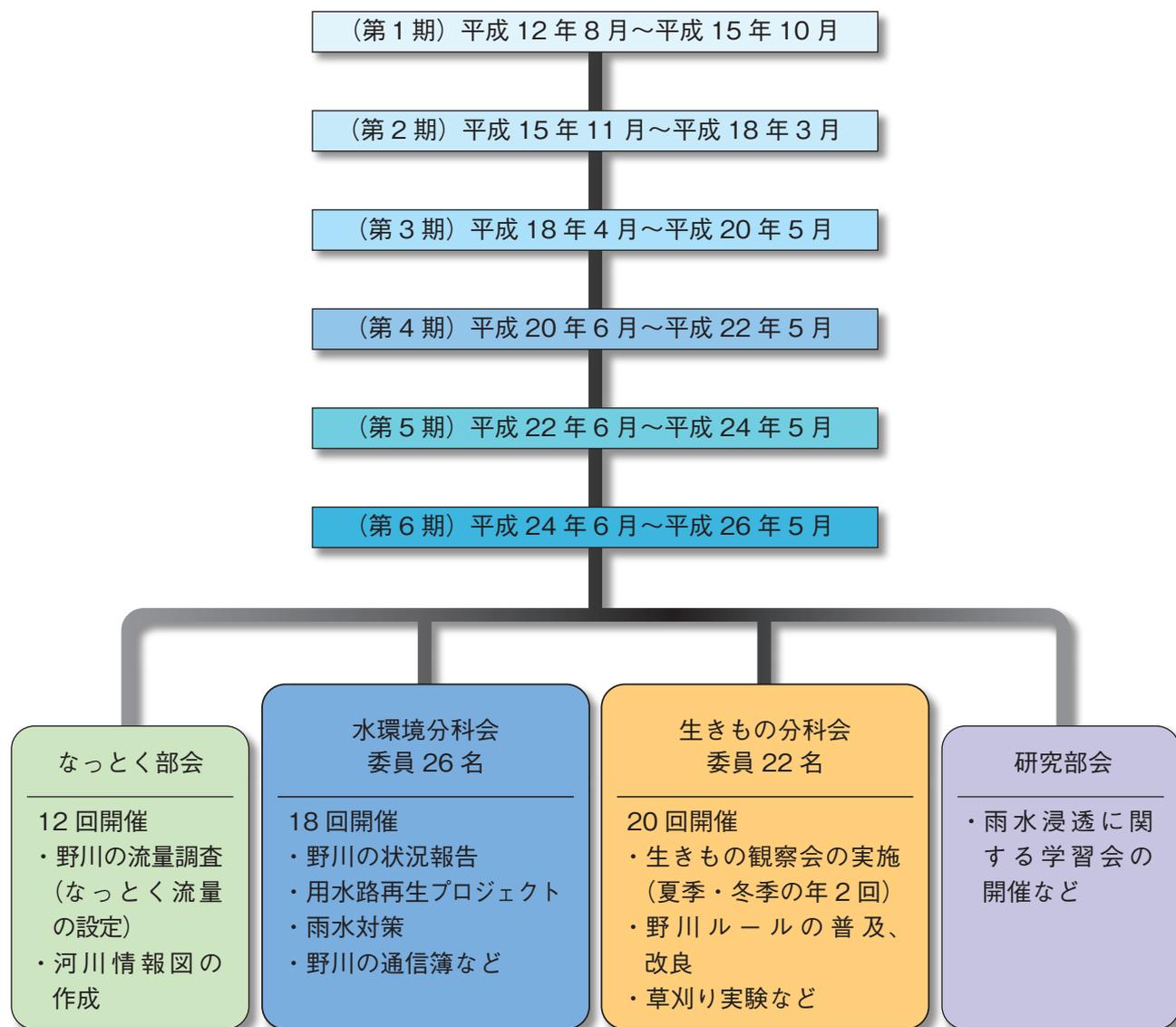




# 野川流域連絡会について

「野川流域連絡会」は、野川が“生命の歌声が聞こえる水と緑の薫る川”となることをめざして、流域住民、野川に関心を持って活動している団体の代表者、都及び流域自治体の職員等が、情報や意見の交換、提案等を行うことを目的に、平成12年8月に設置されています。

平成24年6月から第6期目がスタートし、現在、都民委員18名・団体代表委員10名、行政委員20名、計48名が、水環境分科会と生き物分科会を中心に活動しています。第6期は各分科会の活動報告などが行われる全体会が3回開催されました。



第6期第1回全体会のようす



第6期第2回全体会のようす



第6期第3回全体会のようす

# なっとく部会について

野川なっとく部会は、野川流域河川整備計画の中で記載されている「みんなで決める納得流量」、「市民とつくる河川情報図」の作成を目的に当初河川整備計画部会という名称で開催しました。第1回目が平成18年11月19日に部会の目的、今後の進め方などを話し合いました。その後、第3回平成19年3月14日に流量調査の報告について、納得流量についてのグループ検討、河川情報図のグループによる作成作業という具体的な作業に入り、その中でこの部会の名称として「野川なっとく部会」という名称が決定しました。

第6期は、部会を3回開催し、河川情報図作成のためのフィールドワークや流量調査進め方等について検討してまいりました。流量調査は、8回、フィールドワークは5回開催しました。



第6期第3回なっとく部会のようす

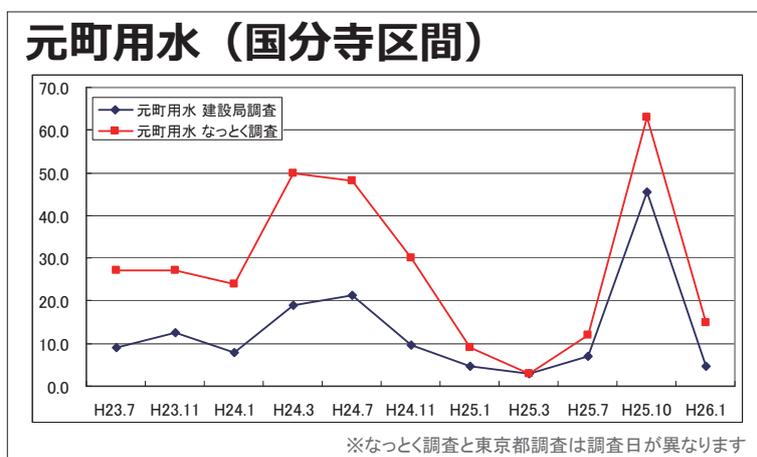
## 第6期なっとく部会の活動状況

開催年月日	活動名称	活動内容
平成24年7月21日	第23回(通算)野川流量調査	7月21日を基準日とする野川の流量調査
平成24年10月25日	第1回なっとく部会	第6期なっとく部会の活動について、「フィールドワーク」、「流量調査」の進め方
平成24年11月17日	第24回(通算)野川流量調査	11月17日を基準日とする野川の流量調査
平成25年1月23日	第2回なっとく部会	仮のなっとく流量の設定について、河川情報図作成のためのフィールドワーク(3巡目)について
平成25年1月26日	第25回(通算)野川流量調査	1月26日を基準日とする野川の流量調査
平成25年3月16日	第26回(通算)野川流量調査	3月16日を基準日とする野川の流量調査
平成25年6月25日	フィールドワーク3巡目1回	狛江区間、野川の旧川を調査
平成25年7月20日	第27回(通算)野川流量調査	7月20日を基準日とする野川の流量調査
平成25年8月27日	フィールドワーク3巡目2回	調布・三鷹区間(細田橋～御狩野橋)、野川を調査
平成25年10月19日	第28回(通算)野川流量調査	10月19日を基準日とする野川の流量調査
平成25年12月11日	フィールドワーク3巡目3回	小金井・国分寺区間(新前橋～最上流部)、野川及び元町用水、新次郎池を調査
平成25年12月11日	第3回なっとく部会	なっとく流量の測定結果について、河川情報図作成について
平成26年1月18日	第29回(通算)野川流量調査	1月18日を基準日とする野川の流量調査
平成26年2月21日	フィールドワーク3巡目4回	世田谷区間(兵庫橋～神明橋)、野川及びみつ池を調査
平成26年3月24日	フィールドワーク3巡目5回	小金井区間(御狩野橋～新前橋)、野川及び野川自然再生事業実施箇所
平成26年3月29日	第30回(通算)野川流量調査	3月29日を基準日とする野川の流量調査

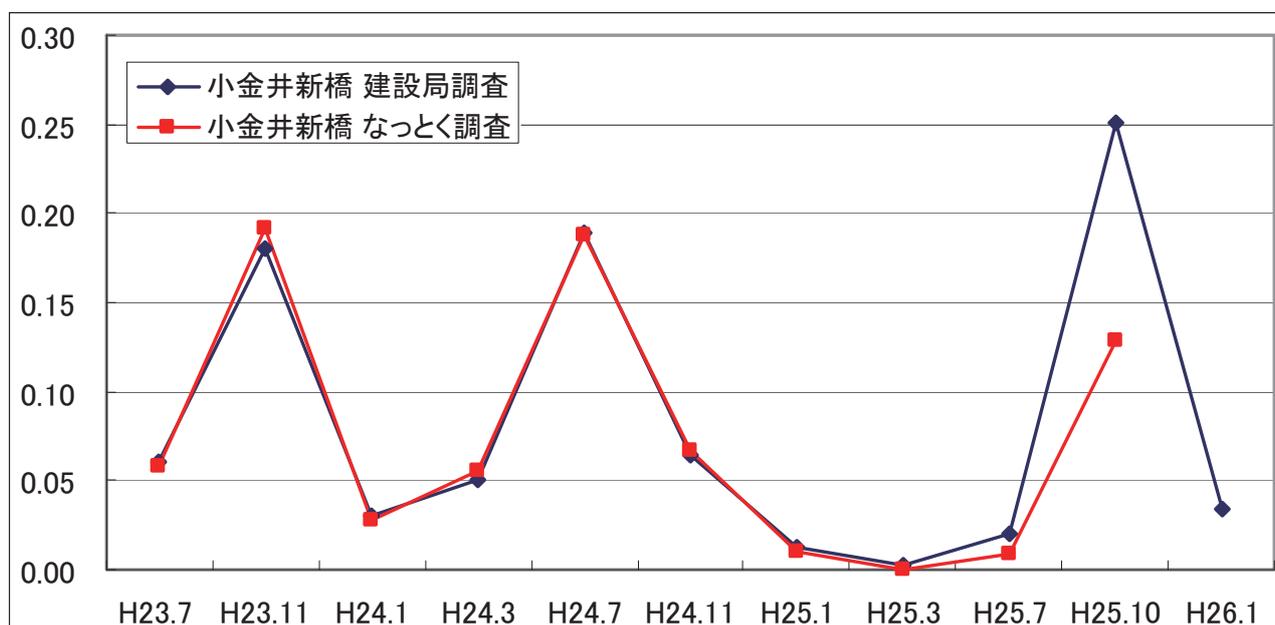
# なっとく流量観測について

なっとく流量観測については、平成18年3月に策定（平成21年12月変更）された野川流域における今後20～30年間の取り組みを示す「野川流域河川整備計画」の中で、市民とともに取り組む“野川ならでは”の施策として、「みんなで決める納得流量」、「市民とつくる河川情報図」を定めており、これら取り組みを進めるために、流量観測を行っています。

第6期では、引き続き委員による流量調査を野川の29か所で8回行いました。特に、今期はなっとく部会で調査している流量と東京都建設局が調査している流量を比較してみたところ、国分寺区間の元町用水では、全体的に東京都の調査のほうが低く出ていますが、同じ傾向が出ていることが読み取れます。続いて小金井新橋、小金井区間の調査ですが、なっとく部会の調査と東京都建設局の調査が近似した値が出てきており、市民が行っている調査でもかなり精度が高い調査が行われていることがわかります。同様に調布の区間、狛江の区間、世田谷の下流区間でも東京都の調査となっとく部会の調査は同様の傾向が見えることから、なっとく調査がデータとしても信頼のおけるものなので、今後も継続してなっとく流量調査を行っていききたいと思います。

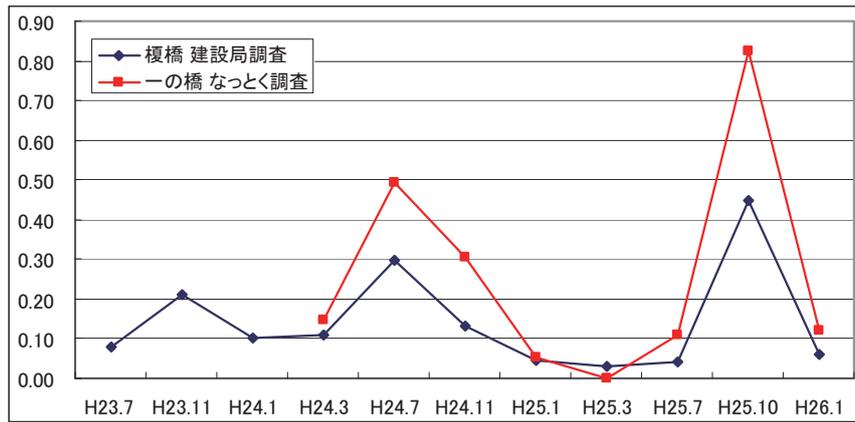


## 小金井新橋（小金井区間）



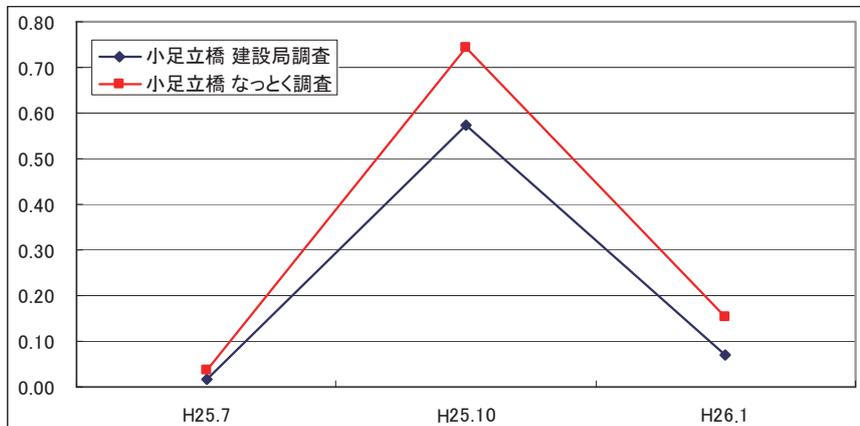
※なっとく調査と東京都調査は調査日が異なります

## 一の橋付近（調布区間）



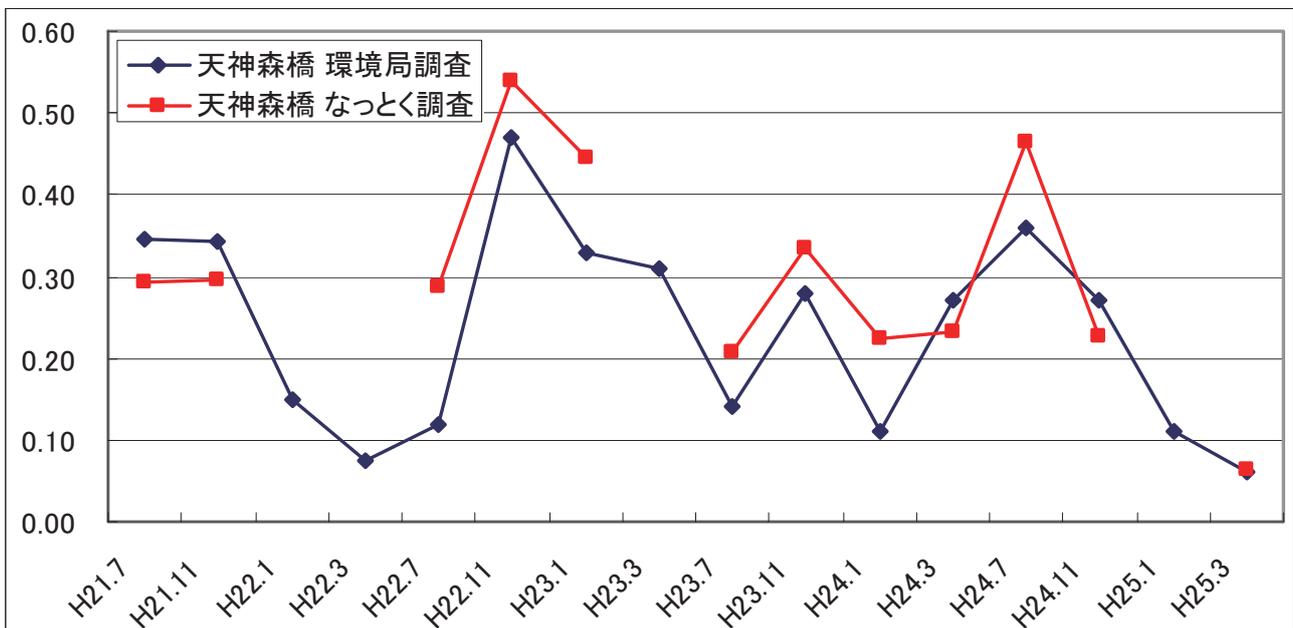
※なっとく調査と東京都調査は調査日が異なります

## 小足立橋（狛江区間）



※なっとく調査と東京都調査は調査日が異なります

## 天神森橋（世田谷下流区間）



※なっとく調査と東京都調査は調査日が異なります

# 河川情報図の作成について

河川情報図の作成については、平成18年3月に策定（平成21年12月変更）された野川流域における今後20～30年間の取り組みを示す「野川流域河川整備計画」の中で、市民とともに取り組む“野川ならではの”施策として、「みんなで決める納得流量」、「市民とつくる河川情報図」を定めており、これら取り組みを進めるために、フィールドワークを行って河川情報図を作成しています。

河川情報図作成のためのフィールドワークは、今期で3巡目になり、狛江の区間を6月に、調布と三鷹の区間を8月に、小金井・国分寺の区間を12月に、世田谷の区間を2月に、小金井の区間を3月に調査しました。

今期からの新しい視点として、フィールドワークの情報を加えるというだけではなく、「野川を案内してみようという視点」で調査を行ってみました。参加した委員の方々に野川についてのシートを配り、皆さんが一番お薦めできる場所、その場所をなぜお薦めしたいのかといたことについて、意見を聴取し、河川情報図に加えていくことで、今後野川を訪れる方を案内するときの参考にする、また委員の方々がその当時どういった感性、感覚を持って調査されたかがわかりますので、今後もこういった新しい項目を加えつつ、データを蓄積していきたいと考えています。

## 「河川情報図」に記載する情報

- ・野川の動植物（希少種、外来種含む）
  - ・河川の利用状況
  - ・河川管理に関すること（ゴミ、木など）
  - ・野川ルールに関すること
  - ・湧水ポイント、崖線
  - ・参加委員の野川でのおすすめの場所と理由
  - ・河川周辺の情報
  - ・その他
- 集めた情報を大きな図面に書き込む作業を行い、最後に参加者の意見交換を行います。



野川左岸の三鷹市大沢のようす

### 河川情報図作成のためのフィールドワーク実施状況

区 間	実施時期				2巡目視察場所	3巡目視察場所
	春 (3~5月)	夏 (6~8月)	秋 (9~11月)	冬 (12~2月)		
兵庫橋～ 神明橋	① H21.3	② H23.6		③ H26.2	・成城三丁目緑地 ・成城さくら公園 ・成城みつ池	・世田谷区間の野川、 みつ池
神明橋～ 細田橋	③ H25.5	① H21.8	② H23.10		・武者小路実篤記念館 ・入間川（分水路）	・狛江区間の旧野川
細田橋～ 御狩野橋		③ H25.8	① H21.11	② H23.12	・佐須用水 ・第7中学校崖下湧水 ・天文台下湧水	・調布三鷹区間の野川
御狩野橋 ～新前橋	③ H26.3	② H23.8		① H22.1	・はげの森美術館 ・どじょう池 ・出山下湧水 ・わさび田	・野川自然再生事業実 施箇所
新前橋～ 最上流部	① H22.3		② H23.11	③ H25.12	・谷口邸 ・貫井神社 ・東経大新次郎池 ・真姿の池湧水群 ・武蔵国分寺跡おたかの道 ・湧水園	・元用水、新次郎池



河川敷にいる野帳



親水利用のようす



親水利用のようす



各委員が集めた情報を白地図に記入する

今期から新しい視点を加えた河川情報図



## ホームページの紹介

野川流域連絡会では、ホームページでも活動の経緯の情報発信を行っています。

<http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/kasen/ryuiki/05/nogawa-title.htm>

東京都建設局では、都内の河川で開いている流域連絡会の活動をホームページで紹介しています。

<http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/kasen/ryuiki/index.html>

# 野川流域連絡会

生命の歌声が聞こえる水と緑の薫る川



【谷戸橋下流 狛江市】



【最上流部 国分寺市】

野川は、国分寺市東恋ヶ窪を源とし、武蔵野台地の端部、国分寺崖線に沿って東南の方向に流れ、小金井市、三鷹市、調布市を貫流し、狛江市東野川で人間川を、世田谷区鎌田で仙川を合流して、世田谷区玉川で多摩川に合流する、延長20.23km、流域面積69.6平方キロメートルの一級河川です。  
水辺に近づきやすい川づくりを基本に、川沿いの武蔵野公園や野川公園と一体的に整備するなど、緑豊かな自然環境をつくりだしています。都市を流れる河川の中では、四季折々の自然が息づくうおいのある川として多くの人々に親しまれています。

「野川流域連絡会」は平成12年8月30日に設置され、現在第5期目として活動しています。委員(公募による都民委員と団体委員30名及び行政委員20名の併せて50名)が互いの情報を共有しながら、意見交換、提案、勉強会、自然観察会などを行っています。

暖かくなりました。東京の川へおでかけ下さい。[てくてくマップ野川はこちら](#)(←クリック)

みんなで楽しめる野川であるために「野川ルール」を考えました。[野川ルールのページへ](#)(←クリック)

## 問合せ先

東京都建設局 北多摩南部建設事務所 工事第二課 工務係

住所 〒183-0006 東京都府中市緑町 1-27-1

電話 042-330-1845

FAX 042-369-3890

e-mail [s0200212@section.metro.tokyo.jp](mailto:s0200212@section.metro.tokyo.jp)